

第23回 J A 宮崎県大会総括

(自己改革の取組を含む)



第23回JA宮崎県大会＜全体像＞

メインテーマ 「農」を基軸として地域と共に歩むJAグループ宮崎

JAグループ宮崎の使命・役割

農業所得の向上(農業振興)

地域の活性化(地域づくり)

決議事項

I 「所得アップGO!GO!テン」運動

II 「食と農」「助けあい」を核とした仲間づくり運動

実践による
自己改革の実現

III JAグループ宮崎の機能強化

<信用事業に関する総括>

1. 農業メインバンク機能の強化

(1) 県域応援事業(産地経営体ステップアップ事業等)への参画

農林中金による助成事業を活用しトレーニングハウス建設にかかる費用助成を実施。

	助成合計	申請JA
28年度	73,500千円	宮崎中央、綾町、えびの市
29年度	96,547千円	はまゆう、尾鈴、西都、日向



(2) メイン強化先・農業法人アプローチ先の全先訪問活動

地域の中核的な担い手となるメイン強化先や農業法人との関係構築・強化のため全先訪問活動を実施。



	メイン強化先	農業法人先
28年度	1,132先	324先
29年度	1,128先	311先

(3) メイン強化先・農業法人へのCS調査

メイン強化先および農業法人の満足度向上を図るため、CS調査を実施。



	メイン強化先	農業法人
28年度	5JA 895先 (こばやし、児湯、尾鈴、延岡、日向)	133先
29年度	3JA 350先 (こばやし、児湯、延岡)	137先

(4) JAバンク新規就農応援事業の支援

新規就農者への支援および新規就農にかかる研修受入先への支援を実施。

	新規就農者営農支援事業		新規就農研修支援事業	
28年度	113名	22,600千円	8件	4,220千円
29年度	144名	28,800千円	10件	7,040千円



第23回JA宮崎県大会総括

(5) JAバンク利子補給制度の推進

JAバンク利子補給制度等(JAバンク利子助成、JAバンクアグリサポート利子助成を含む)の積極的な推進により農業者の借入負担の軽減を図り、農業経営の成長支援を実施。

	件数	金額
28年度	2,222件	71,061千円
29年度	3,085件	73,888千円



(6) 農機具購入応援事業・JAバンク保証料助成事業の実施



農業近代化資金を利用して購入する農機具の本体価格20%相当額(上限100万円)を費用助成する事業を実施。

また、農業近代化資金とアグリマイティー資金の融資を受ける農業者が負担する宮崎県農業信用基金協会の保証料を助成する事業を実施。

	農機具購入応援事業		JAバンク保証料助成事業	
30年9月末時点	408名	226,287千円	834件	34,458千円

2. 農業と地域・利用者をつなぐ取り組み

(1) 農業応援金融商品の企画・販売

「食」と「農」を意識した金融商品の企画・販売を図ることで、県産農畜産物の消費拡大を応援。

	キャンペーン内容
29年度 サマーキャンペーン	県産の米・宮崎牛・果物を抽選でプレゼント
29年度 ツクツクキャンペーン	宮崎牛を抽選でプレゼント
30年度 サマーキャンペーン	宮崎牛1頭分のお肉を山分けプレゼント
30年度 住宅ローンキャンペーン	ご契約者に県産の農畜産物(米・宮崎牛・果物等)をプレゼント

(2) 直売所利用活性化応援事業の実施

JAカード利用5%割引の実施(一部店舗)とあわせて、直売所の利用拡大による地域貢献を目的に、カード決済端末・店舗モニターならびに直売所イベント費用の助成を実施。

	直売所数	金額
29年度	7直売所	1,664千円



(3) 食農教育応援事業の実施

- ・県内小学校へJAバンク補助教材「農業とわたしたちの暮らし」を贈呈。

28年度	237校	12,027冊
29年度	244校	11,966冊

- ・各JAが実施した食農教育(お米学習教室・農家のおじちゃんと語る会)にかかる費用の助成を実施。

28年度	37件	9,016千円
29年度	41件	9,607千円



(4) JAバンク宮崎ブランド広告展開

- ・JAバンク宮崎ブランドイメージCMを製作し、現在放映中。
- ・LINE@を活用した情報発信を展開。あわせて新規お友だちキャンペーンを実施。

LINE@

×

@jabkmiyazaki

今すぐ登録

JAバンク宮崎のLINE公式アカウントを
友だち登録していただくと

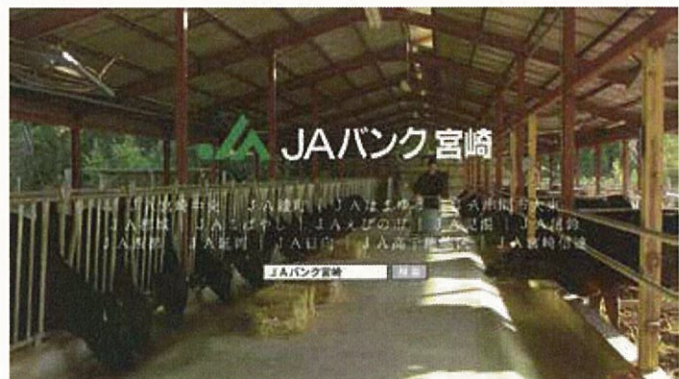
**JAバンク宮崎オリジナル
メモ帳とボールペンをプレゼント!**

バラバラメモ

ボールペン

キャンペーン期間中、県内各地のイベント開催、県産農産物を活用したレシピ、おトクなお米情報やJAのおおきくお祭りなど、様々な役に立つ情報を随時お届けします。

LINEの「友だち(8人)」から「ID検索」または「QRコード」で登録してね!



<共済事業に関する総括>

1. 3Q訪問活動の積極的な展開によるお役立ちの実践

目的

3Q訪問活動とは、組合員・利用者の皆さまに日頃の感謝の気持ちをお伝えするとともに、「3つの質問」を通じた近況確認(住所変更通知、請求忘れ、家族構成の変化)や、契約内容の確認・保障内容の点検を通じて、「コミュニケーションや信頼関係の強化を図っていく活動です。

実施内容

- ・現在の保障がご家族構成や年齢にあった保障となっているか確認することができました。
- ・最新の情報により、掛金の割引も含めてご提案することができました。
- ・住所変更や共済金請求漏れのご確認を行うことができました。

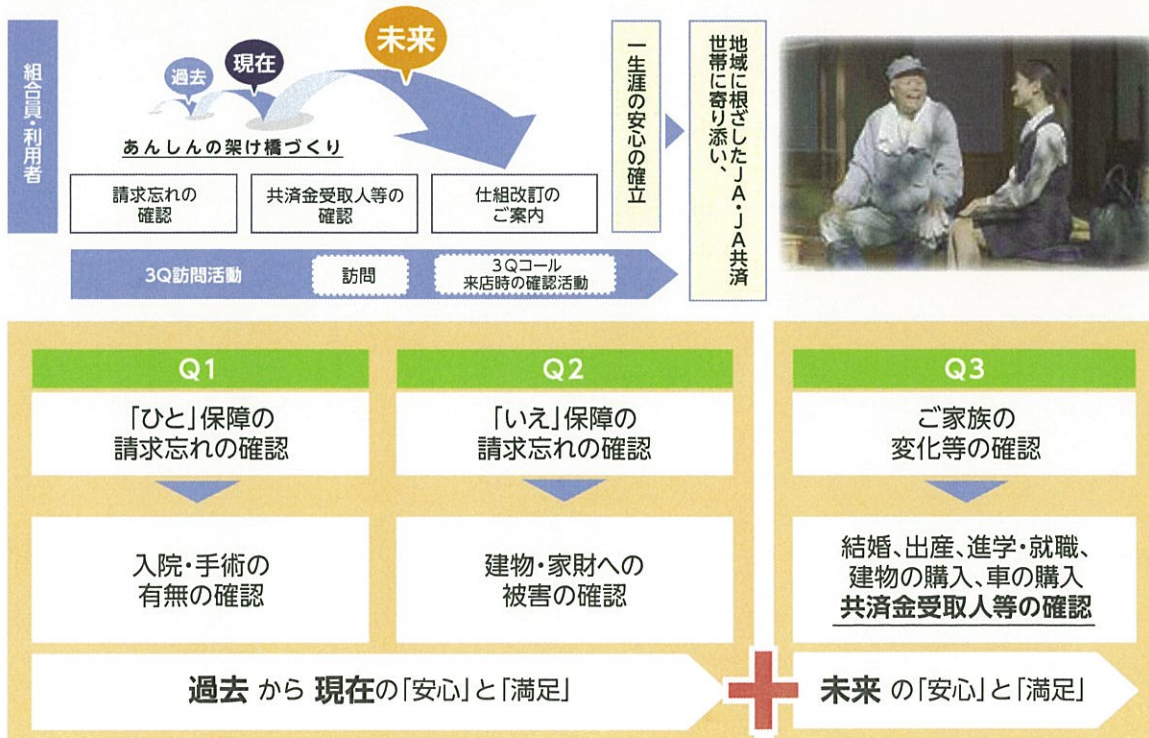
<今次3か年訪問世帯数>

(単位:世帯)

年 度	平成28年度	平成29年度	平成30年度 (9月末時点)
共済加入世帯数	150,664	148,580	146,180
訪問活動実施世帯数	120,015	121,853	69,175

<参考>

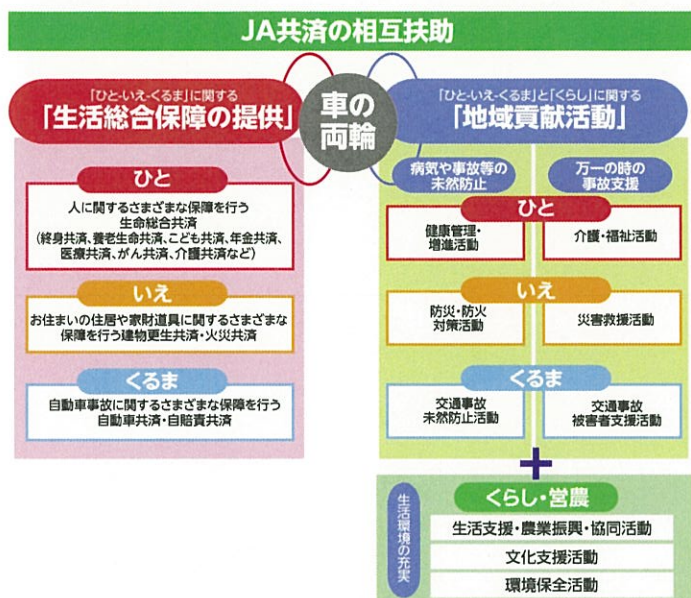
「3Q訪問活動」によるあんしんの架け橋づくりならびに3つの質問(3Q)の内容と目的



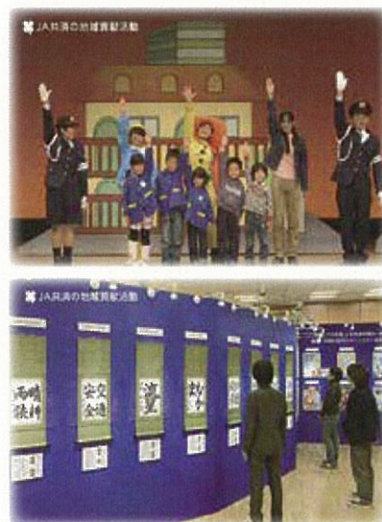
2. 地域に根ざした地域貢献活動の展開

目的

安心して暮らせる豊かな地域社会の実現と、少子高齢化の進展を踏まえ、次世代層を含めた地域住民との絆の強化を図ることを目的に地域貢献活動を通じて「JAらしさ(JAの魅力)」を積極的に発信してきました。



豊かで安心して暮らせる地域社会づくりに貢献



<参考> 地域貢献活動状況(平成28年4月～平成30年9月)

(単位:万円)

主な取組施策	活用金額
カーブミラー	2,284
農業所得増大応援事業助成	1,186
鳥獣被害防止対策助成	848
営農指導車	2,881
営農基盤対策	2,250
MRI助成	1,947
くらしの活動助成	770
高齢者交通安全教室	3,237
小・中学生書道コンクール	2,588
合 計	17,991

JA共済連宮崎

検索

JA共済杯サッカー大会、バレーボール大会、書道コンクール等の情報をご紹介します。

3. 事業活動における意識改革と新しい取組みへの挑戦

目的

平成28年4月より「組合員・利用者の利便性向上」「JAの事務負担の大幅な軽減」「利用者満足度の向上」の3点を目指して、順次新しい事務手続きの導入を目指しました。

実施内容

<組合員・利用者の利便性向上>

ご契約手続き時等、これまでの書面による申込み手続きから、Lablet's端末機を活用した、わかりやすく、迅速な手続きの実現を図ってきました。



(Lablet's 端末機)

<JAの事務負担の大幅な軽減>

申込み手続きのペーパーレス化や各種カードの利用向上によるキャッシュレス化により、契約申込手続きや掛金収納といった事務負担を大幅に軽減してきました。

⇒これにより一層の「利用者対応力の強化」および「満足度の向上」を目指しました。今後も更なる取組み強化を図ってまいります。



平成28年度～平成30年度「地域に広がる助け合いの心～くらしと営農を支えるJA共済～」をスローガンに事業の展開を図ってまいりました。平成31年度以降も各種課題と向き合いながら、組合員・利用者に寄り添い、「ひと・いえ・くるま」の総合保障の提供を通じて、安心と満足をお届けいたします。



<経済事業に関する総括>

購買事業

事例 1

肥料のコスト低減

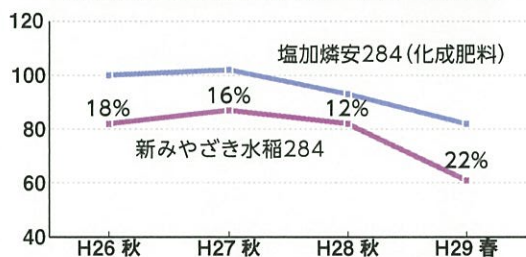
低コストで多用な地域性などの要望に応えるため、**B B肥料の普及拡大**を行っています。

主要2銘柄（水稻・麦などの元肥等）について
15～20%のメリットがあります。



B B 肥料と化成肥料の価格推移

H26秋の化成肥料価格を100としたときの指標



事例 2

農薬のコスト低減

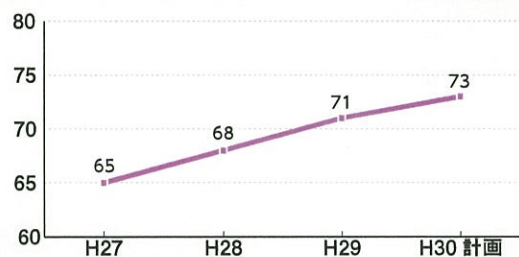
通常規格より割安な価格である**大型規格農薬の普及拡大**を行っています。

茎葉処理除草剤の**大型規格5.5ℓ**以上は通常規格500ミリℓ当たりで、**40%以上のメリット**があります。



ラウンドアップ大型規格シェア率の推移

単位：%



事例 3

農業のコスト低減

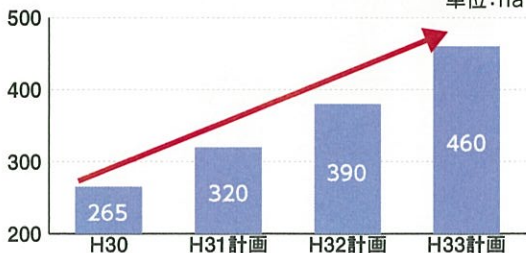
平成30年より**水稻除草剤担い手直送規格 (40kg・50kg)の取扱い**を始めました。

徹底したコスト削減で
通常規格より**約20%のメリット**（1^キ箱換算）があります。



担い手直送規格を利用する面積推移

単位：ha



事例 4

飼料のコスト低減

平成27年より「子牛育成用」「肉牛肥育用」「養豚用」それぞれで**配合飼料の開発**を始めました。

銘柄集約と配合割合の
見直しによるコスト低減で、最大で**約20%のメリット**があります。



銘柄集約による配合飼料の取扱推移

子牛育成用・肉牛肥育用・養豚用の合計 単位：ト



第23回JA宮崎県大会総括

事例 5

農業機械のコスト低減

平成22年より主要な農業機械について**コスト低減**を目指した**ゴーゴーテン**型式の取扱いを始めました。

県域を越えた多様な仕入に取組み、トラクター・田植機など**10～30%**の**メリット**があります。



ゴーゴーテン型式の取扱実績



事例 6

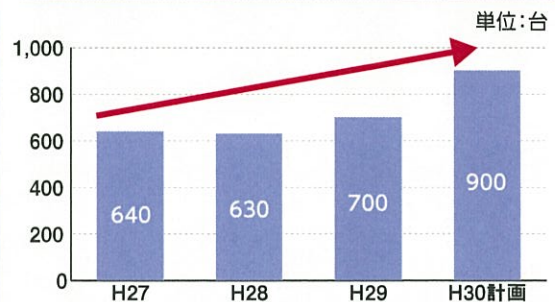
農機レンタル事業の拡大

平成19年から全農に先駆けて**レンタル事業**の**取組み**を始めました。

農機導入の選択肢の一つとして普及拡大し、**46機種125台**のラインナップで、**年間700件**の実績で**生産者のコスト低減**を目指します。



農業機械レンタルの実績推移



販売事業

事例 7

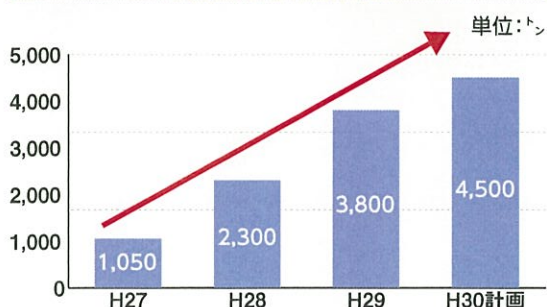
買取販売・直接販売の拡大

青果物取引の多様化に対応し、**実需者ニーズに基づいた取組み**として、**買取販売・直接販売**の**拡大**をしています。

買取販売 **約4,000トン**
直接販売 **約6,500トン**
生産者の所得の安定を目指します。



買取販売の実績推移



事例 8

加工・業務向け契約栽培の拡大

ニーズを捉えたマーケットインによる産地づくりを目指し、**加工・業務向け契約栽培**の**拡大**を進めています。

契約栽培**約27,000トン**で**分業化・機械化体系**の取組みを行い、**生産基盤の拡大**を目指します。



加工・業務向け契約栽培実績推移



事例

9

物流体制の整備

青果物輸送体制の見直しを行い、法令を遵守した輸送・積み込み業務改善を進めています。

さらに各JAの産地ビジョンや生産振興計画をもとに、県域・品目別の選果場構想について協議を進めていきます。



取組みの効果

- ①カーフェリーを利用した輸送量の増加(前年比120%)
- ②トラック会社間の効率的な積合わせ
- ③配送ミス等の輸送事故の減少

など物流の改善が図れ、安定的な販売につながりました。

事例

10

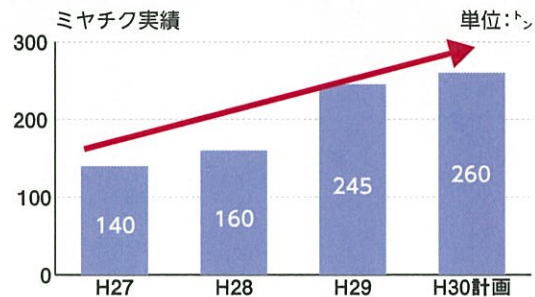
畜産販売の強化

ブランド確立や消費拡大に向けたPRを実践し、畜産物の有利販売と販売拡大を進めています。

国内での有利販売を目指して輸出事業の強化を図り、牛肉は245トンの実績があります。



牛肉の輸出実績推移



<全体総括>

1. 第三次『所得アップGO! GO! テン』運動の実践

この運動は、**組合員**が経営管理・生産管理を通して「**収量アップ**」と「**品質アップ**」に努め【重点取組】として設定した**部会目標**を達成することで「**農業所得10%アップ**」を目指す運動です。



(1) 目標数値の設定による実践



※県下で**90の生産部会**で**392項目の目標を設定**し、組合員と役職員が『**一致団結**』して組合員のレベル向上、部会活性化を図ることで産地づくりに努めました。

<目標達成した項目数>

■耕種	198項目中	60項目	30.3%
■畜産	194項目中	101項目	52.1%
□全体	392項目中	161項目	41.1%

(2) 農業所得10%アップの状況

<平成29年度所得実績>

※数値は平均所得

■耕種	4,031千円	目標所得対比	97.9%
■畜産	6,536千円	目標所得対比	137.9%

□全体	4,701千円	目標所得対比	108.6%
-----	---------	--------	--------

※目標所得は、第二次運動の平均農業所得を10%アップした額

【所得の推移】

単位：千円（1戸あたり所得）

	一次※		二次			三次	
	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
全体	3,049	3,426	3,489	3,674	4,643	5,413	4,701
耕種	3,108	3,754	3,574	3,582	4,265	4,527	4,031
畜産	2,870	2,469	3,245	3,943	5,742	7,996	6,536

※第一次の初年度（H22）は口蹄疫の影響が大きくグラフから外した。

(3) 所得10%アップ達成者の状況

<平成29年度 農業所得が10%以上アップした戸数状況>

■耕種	4,218戸中	1,562戸達成	達成率	37.0%
■畜産	1,445戸中	899戸達成	達成率	62.2%

□全体	5,663戸中	2,461戸達成	達成率	43.5%
-----	---------	----------	-----	-------

※達成目標は、所得10%アップ達成者を農業経営者組織協議会（青色申告電算会員）の5割以上

2. 「『食と農』『助けあい』を核とした仲間づくり」運動の実践

〇「食」「農」「JA」の理解者・応援者の拡大、地域活性化を図るために、**組合員の皆様と共に様々な協同組合活動**に取り組みました。

類 型	内 容
ふれあい型活動	支店毎のJA祭、健康・スポーツ大会など
テーマ型活動	食農教育、料理教室、地場産加工品づくりなど
組織型活動	女性部活動、年金友の会、助けあい活動など
地域貢献型活動	見守り活動、子育て支援、交通安全教室など



●県農畜産物を使った料理教室



●青年部のお米学習教室



●1支所・支店1活動



●食育活動



●女性部による見守り活動

第23回JA宮崎県大会総括

3. JAグループ宮崎の機能強化

○総合力を発揮し取り組んだ**自己改革の情報発信**（『見える化』）を行いました。

【主な情報発信の事例】

- 各JAの**総代会資料** 及び **広報誌**等の活用
- 役職員巡回、会議・研修**等
- 新聞、テレビ、SNS**等、メディアの活用



各JAの広報誌より



JAグループ宮崎の総合力の発揮

持続可能な農業・
地域社会の構築

JAグループ宮崎の使命・役割

「農業所得の向上（農業振興）」・「地域の活性化（地域づくり）」

このためには

組合員と役職員の『**二人三脚(共に)**』による
『**協同活動**』の実践が必要

そのためには、引き続き

取り組みの
『**見える化(見せる化)**』と『**話し合い**』が不可欠